

ニュース インドネシア大学、ハノイ国家大学外国語大学の関係者が人文社会科学部を訪問されました

12月2日(水)に、本学と大学間交流協定を締結しているインドネシア大学(インドネシア共和国)及びハノイ国家大学外国語大学(ベトナム社会主義共和国)から、両大学の役職教員と研究生(各1名)が人文社会科学部を訪問されました。

今回の訪問は、12月1日、2日に静岡市内で開催された本学主催のインターアカデミアアジア及び国際シンポジウムに参加されたのを機に、本学部との今後の教育・学術交流の可能性を検討するために初めて訪問されたものです。

会談では、まず今野喜和人学部長及び各学科の教員から本学部・学科を紹介、続いて、インドネシア大学のバンバン副学長、ハノイ国家大学外国語大学のトゥエン東洋言語文化学部副学部長から、各大学の紹介のほか、日本の大学との留学プログラムによる交流実績などについて説明がありました。

また、本学部との交流の可能性について、留学支援制度や授業形態など、活発に意見交換が行われ、双方で継続して検討していくことが確認されました。

※本学側出席者：今野学部長、上利教授、石橋教授、畠垣准教授、張准教授、横濱准教授、ライアン准教授(国際交流センター)



▲会談の様子



▲前列左から、
トゥエン副学部長(ハノイ国家大学外国語大学)、
今野人文社会科学学部長、
バンバン副学長(インドネシア大学)